

朝日大学 保健医療学部看護学科 紀要投稿規程

紀要委員会

2019年6月改正

1. 投稿者の資格

- 1) 著者（筆頭著者）は本学科の教員とするが、共著者に本学科以外の者を含めることができる。
- 2) 紀要委員会が原稿を依頼した者であること。

2. 掲載内容

紀要に掲載する内容は、投稿原稿および実践報告、研究活動実績とする。

- 1) 投稿原稿の種類は、原著、研究報告、資料とする。その内容は表1のとおりとする。

表1 原稿の種類と内容

| 種 類 | | 内 容 |
|------|------|---|
| 投稿原稿 | 原著 | テーマが明確で独創性に富み、新しい知見や理解が論理的に示されているもの |
| | 研究報告 | 内容的に原著には及ばないが、調査・インタビュー・観察などで得られたデータをまとめたものであり、研究結果に意義があるもの |
| | 資料 | 原著、研究報告の分類に該当しないが、重要な見解、記録など有用な資料となるもの |
| 実践報告 | | 上記以外の研究・教育・社会貢献などの実践をまとめたもの |

- 2) 投稿原稿および実践報告は国の内外を問わず未発表のものに限る。重複投稿は禁止する。
- 3) 実践報告は査読を必要としない。
- 4) 研究活動実績の期間は、当該年の1月1日から12月末日までとする。その内容は、著書、学術論文、学会発表等とする。

3. 倫理的配慮および著作権の侵害への配慮

- 1) 投稿原稿および実践報告では、対象者の人権が倫理的に配慮され、保護されていることが本文中に明記されていること。また、主となる研究者が所属する施設の研究倫理委員会の承認を得ていること。
- 2) 既存の尺度、著作物およびその写真・イラスト等を使用する際、一部改変して使用する場合も、作成・開発者からの許諾が必要かどうかを確認し、手続きを行うこと。また、行った手続きおよび出典を本文中に明記すること。

4. 投稿手続き

- 1) 投稿原稿は3部、実践報告は1部を提出する。ただし、投稿原稿の場合は、氏名、所属等を記載しない。
- 2) 投稿時に「提出原稿チェックリスト（様式1）」を用いてチェックを行う。
- 3) 上記の1) 2) と著者の氏名・連絡先（様式2、学事一課のみ閲覧・保存）を同封し、受付期間内に学事一課（保健医療学部）に直接手渡しにて提出する。

5. 投稿原稿の受付および採否

- 1) 原稿は、学事一課へ手渡した日を受付日とする（受付日と到着順に付す受付番号を著者に通知する）。原則として、著者の氏名・連絡先は、紀要委員会および査読者に通知しない。
- 2) 原稿の採否は、紀要委員会が依頼した査読者（2名）による査読結果に基づいて、紀要委員長が紀要委員会の意見を十分に反映し最終決定を行う（査読については、査読要領を参照）。結果は、学事一課より通知する。
- 3) 著者には、査読者の意見をもとに、原稿の修正および論文の種類の変更を求めることがある。

6. 論文の返却

提出された論文は理由の如何を問わず返却しない。

7. 著者校正

査読を経て、紀要委員会で受理された投稿原稿については著者校正を1回行う。但し、校正の際の加筆は認めない。

8. 最終原稿提出

論文掲載の決定後、最終原稿および実践報告のデータ（本文、図表及び写真などの一式）は、保存した電子媒体（CD-ROM または USB に Word ファイルで保存したもの）と印刷した原稿1部を学事一課（保健医療学部）に直接手渡しで提出する。

9. 著作権

著作権は本学科に帰属する。但し、著者自身が使用する場合にはこの限りではない。また、本誌に掲載される著作物は、朝日大学機関リポジトリに登録するものとする。

10. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料を徴収しない。別刷は30部まで無料とする。
- 2) カラー写真、特殊な図・表等、特別な費用等を必要とした場合には著者負担とすることがある。

原稿執筆の要領

紀要委員会

2019年6月改正

1. 原稿の構成

1) 和文の場合

- (1) 原著および研究報告は16,000字以内(図表, 文献を含む), 資料および実践報告は8,000字以内(図表, 文献を含む)とする。適切な行間をあける。
- (2) 図表1枚につき400字換算で計算し, 文字数との合計が制限字数を超えない。
- (3) 表紙には和文表題, 論文希望種別, 原稿枚数と図表の数を明示する。
- (4) 原著と研究報告には英文表題, 400字以内の和文抄録と250語以内の英文抄録, 日本語と英語のキーワードを5語以内でつける。

2) 英文の場合

- (1) 原著(original article)および研究報告(research report)は5,000語以内(図表, 文献を含む), 資料(Documents)は3,500語以内(図表と文献を含む)とする。
- (2) 表1枚につき160語換算で計算し, 論文語数との合計が制限語数を超えない。
- (3) 表紙には英文表題, 論文希望種別, 原稿枚数と図表の数を明示する。
- (4) すべての投稿原稿に和文表題, 原著と研究報告には400字以内の和文抄録と250語以内の英文抄録, 日本語と英語のキーワードを5語以内でつける。

| | 種類 | 本文(図表, 文献含む) | 抄録 | キーワード |
|----|---------|--------------|----------------------|-------|
| 和文 | 原著・研究報告 | 16,000字以内 | 和文400字以内 英文250語以内 | 5語以内 |
| | 資料・実践報告 | 8,000字以内 | 不要 | 不要 |
| 英文 | 原著・研究報告 | 5,000語以内 | 和文400字以内 英文250語以内 | 5語以内 |
| | 資料 | 3,500語以内 | 不要 | 不要 |

- 3) 和文の場合の英文表題, 英文抄録および英文の投稿原稿については, 投稿前に必ずネイティブチェックを受けておくこと。

2. 論文の書き方

1) 和文の場合

- (1) 原稿はワードプロセッサで作成する。A4版横書きとする。書体, フォントおよび1ページ当たりの文字数の指定はない。本文および原稿末文献リストの句読点は, 「,」や「.」ではなく, 「, (全角読点)」 「. (全角句点)」とする。本文に, 原稿の下部中央にページ番号を付け, 表紙, 英文抄録, 図表はページ番号を付けない。
- (2) 外国語はカタカナで, 外国人, 日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴で書く。
- (3) 本文及び抄録の中で頻回に使用される語は, 略語を用いてもよいが, 最初のときは正式の語を用い, (以下・・・・と略す)と記載する。
- (4) 本文は, はじめに(Introduction), 方法(Methods), 結果(Results), 考察(Discussion), おわりに・結論(Conclusion), 文献(References)など項目を立てて記載する。但し, 投稿原稿の場合は, 投稿

者を特定することがないように、謝辞 (Acknowledgement) は、掲載決定後に本文に記載する。

- (5) 図、表および写真は、図 1 (Figure 1)、表 1 (Table 1)、写真 1 等通し番号をつけ、本文とは別一括すること。また、本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置、図・表および写真の大きさ、ページ分断しないなどを指定する場合は、具体的に朱書きする。

2) 英文の場合

- (1) 原稿はワードプロセッサで作成する。A4 版横書きとする。Times New Roman の 12 ポイントのダブルスペース (Double-spacing) で作成し、適切な行間をあける。
- (2) 資料の書き方は、和文の (3) ~ (5) に準じる。

3. 著者は、利益相反 (Conflict of Interest : COI) を引き起こす可能性がある資金提供や雇用関係を開示しなければならない。開示 (Disclosure) はすべて本文の末尾に記述する。

例：利益相反なしの場合

「本研究に関して、開示すべき利益相反状態は存在しない。」

「The authors have no financial conflicts of interest to disclose concerning the study.」

例：利益相反を有する場合

「本研究は、〇〇〇〇 (企業・団体名など) より助成を受けた。」

「The authors have financial conflicts of interest to disclose concerning the study. This study was supported by the 〇〇〇〇 Foundation for Health.」

4. 文献の記載方法は下記に従う。

- 1) 文献については、本文中に著者名、西暦発行年を括弧表示する。
- 2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。共著者は全員表記する。
- 3) 文献リストは、和文文献の場合にはローマ字および数字は半角文字を使用し、半角文字に挟まれる「-」や「()」「」は半角記号とする。
- 英文文献の場合はすべて半角文字を使用し、雑誌名および書籍名をイタリックで表示する (注意：和文文献の場合は斜字体にしない)。
- 4) 雑誌名は原則として省略しない。誌面の都合等で省略しなければならない場合は、和文誌では医学中央雑誌、英文誌では、INDEX MEDICUS および INTERNATIONAL NURSING INDEX の雑誌略名に従う。

【雑誌掲載論文】

著者名 (西暦発行年). 表題. 雑誌名, 巻 (号), 開始ページ-終了ページ.

例 1 : 日本太郎, 看護花子, 研究二郎 (1998). 社会的支援が必要な高齢入院患者の特徴. 日本高齢者学会雑誌, 2(1), 32-38.

例 2 : Vega K.J., Pina I., Krevsky B. (1996). Heart transplantation is associated with an increased risk for pancreatobiliary disease. *Annals of Internal Medicine*, 124, 980-983.

【単行本】

著者名 (西暦発行年). 書籍名 (版数). 引用箇所の開始ページ-終了ページ, 出版社名, 発行地.

例 1 : 研究太郎 (1995). 看護基礎科学入門. 23-52, Research Press, Osaka.

例 2 : Ringsven M.K. & Bond D. (1996). *Gerontology and leadership skills for Nurses*, 2nd ed. Albany, NY: Delmar Publishers.

【分担執筆の文献で著者と書籍に編者（監修者）が存在する場合】

著者名（西暦発行年）．表題，編集者名（編）：書籍名，引用箇所の開始ページー終了ページ，発行地：出版社名．

例1：研究花子（1998）．不眠の看護．日本太郎，看護花子（編）：臨地看護学Ⅱ．123-146，東京：研究学会出版．

例2：Phillips S.J. & Whisnant J.P.(1995). Hypertension and stroke. In: J.H.Laragh & B.M. Brenner(Eds), *Hypertension: Pathophysiology, diagnosis, and management*(2nd ed., pp.465-478). New York : Raven Press.

【翻訳書】

原著者名（原著発行年）／訳者名（翻訳書発行年）．翻訳書名（版数）．引用箇所の開始ページー終了ページ，発行地：出版社名．

例：Walk, L.O., & Abant, K.C.（2005）／日本太郎・看護花子訳（2008）．看護における研究計画書の立案の方法．77-79，東京：朝日書院．

【英文投稿する際の英文表題のない日本語論文の書き方】

英文表題のない日本語の論文は，英語に翻訳し最後に「(in Japanese)」をつける．

例：Kondoh Y.(2001). Effects of flexed posture with boundaries following endotracheal suction in very low birth weight infants. *Journal of Japan Academy of Nursing Science*, 21(3), 11-20. (in Japanese)

【オンライン文献】

著者名（入手年月日）．表題，URL．

例1：ABC 看護学会（2014-05-05）．ABC 看護学会投稿マニュアル．
<http://www.abc.org/journal/manual.html>

例2：Ministry of Internal Affairs and Communications with the collaboration of Ministries and Agencies.(2012). Japan in figures and graphs. [Cited 27 Mar 2012.] Available from URL : stat.go.jp/SG1/estat/GL36010101.do1

【ホームページの場合】

参照したホームページのタイトルまたはそれに相当するもの．URL，閲覧した年月日．

例：朝日大学なんでもサイト．<http://www.alice.com>, 2014-05-05.